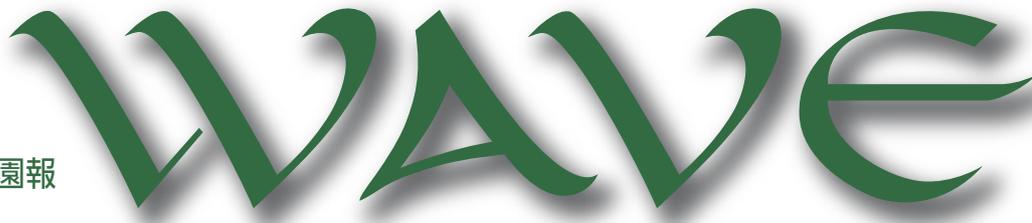




学園報



2017(平成29)年
新年のご挨拶
～理事長・総長

“改革”の第2幕へ

学校法人 大阪成蹊学園 理事長・総長 石井 茂



年から平成30年にかけて様々な記念事業を展開し、学園を更なる進化へと導く計画をしています。

まず、施設面ではびわこ成蹊スポーツ大学の中央棟(仮称)、女子専用アパート、男子スポーツ寮の建設に続き、大阪成蹊女子高等学校の食堂・美術棟、大阪成蹊大学の新講義棟を建設する予定です。大阪成蹊短期大学の教室も先の定員増に見

合った充実を行いたいと考えています。

教育面では平成30年マネジメント学部国際観光ビジネス学科を新設し、スポーツマネジメント学科の入学定員を90人から110人にするための準備を進めています。また教育学部では平成30年に英語と保健体育の中学校・高等学校の教員養成の専攻を新設する構想を固めつつあります。さらに大阪成蹊大学には教育学専攻の大学院設置も併せて考えています。

教育の中身の改革としては、アクティブ・ラーニングや教育効果の可視化など現在20のプロジェクトチームによって進めている教育改革を強力に推し進める方針です。

建学の精神にあるような「人間力」のある人材を世に送り出し、さらに進化する大阪成蹊学園を実感し、皆さんと一緒に平成30年の学園創立85周年をお祝いしたいと願っています。

学生・生徒の皆さん、教職員の皆さん、関係団体の皆さん新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成22年1月より本学園の経営や教育の改革に携わり、早いもので丸7年経過しました。これまでに学園の建学の精神に立ち戻って実施した様々な改革、すなわち挨拶運動やキャンパス美化など「学園の抜本的な風土改革」、迅速で的確な意思決定を実現するための「ガバナンス改革」、社会や学生の皆さんのニーズにお応えするための「学部学科の改編新設」、学

生・生徒の皆さんが生き生きとして学ぶための「授業内容の充実」、就職活動や課外活動の活性化など「学生支援の充実」、全員参画の「教職協働体制の確立」、その他「高大連携・地域連携・海外連携の強化」など多くの成果を挙げることが出来ました。またその結果として、学生・生徒数の画期的な増加、学力水準の急上昇、99%の就職率、地域連携や課外活動における学生・生徒の大活躍など学園の著しい進化を実感することが出来ました。

平成29年という年は“改革”の第2幕へ入る重要な年です。本学園は平成30年に創立85周年を迎えます。そこで平成29

大阪成蹊学園 各 学 校 長 から ご 挨 拶



大阪成蹊大学 学長
武蔵野 實

人間力を鍛える教育の
いっそうの推進

- 本年積極的に取り組む項目
- 1 教育学部・マネジメント学部改組の準備
- 2 人間力を育てるアクティブラーニングの推進

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。今年は大阪成蹊大学創設15年目を迎えます。大学の未来への発展をめざして次の取り組みを行います。

教育学部は開設4年目、いよいよ第1期生を送り出すことになり、次年度に向けて教員養成の質を一層高めることを目指し、中学校・高等学校の「英語科、保健体育科の教諭免許状取得の課程」と、小学校・幼稚園教諭専修免許状を取得できる「大学院教育学研究科」新設準備を進めます。マネジメント学部では「国際観光ビジネス学科」の新設準備を進めます。グローバル化する社会の中で、語学(英語)を活用し国際的に活躍できるビジネスパーソン、観光産業で企画力を発揮して活躍する人材を育てる予定です。

本学園ではこの数年間にわたり、教育改革を発展的に進めています。アクティブラーニングをいっそう推進し、学生諸君が能動的に学びに参加し、人間力を鍛える教育、授業の改善を進めます。キャリアデザインなどの人間力育成プログラム、企業や教育現場とつながる授業を実施します。

また、今年は大坂評価機構による7年に1回の認証評価を受審します。大学の教育改革や大学運営の改革について自己点検評価書を作成し評価を受けます。



びわこ成蹊スポーツ大学 学長
嘉田 由紀子

グローバルに活躍できる
スポーツ人材を育成

- 本年積極的に取り組む項目
- 1 教育の質向上をめざす教育改革の推進
- 2 国際的なスポーツの時代に活躍できる人材育成

新年明けましておめでとうございます。本学は、2003年の開学以来、人びとの多様なスポーツ要求等を支援することのできる約2700名の卒業生を送り出してきました。保健体育科の教員や消防・警察官などの公務員を1000名近く輩出し、民間企業人材も含め、就職先の多様性と就職率の高さを誇ってきました。本年は以下の2点に力を入れます。

1点目は、50名近い教員の、アスリートかつ研究者としての経験・能力や教育力がフルに発揮できるよう、教職協働の教育改革を進めます。教育内容の点検・分析を行い、教育の質のさらなる向上をめざし、真に社会で活躍できる「忠恕の心」をもち、人間力豊かな人材の育成に努めます。2点目は、国際的なスポーツの時代に活躍できる人材育成です。2019年のラグビーW杯、2020年の東京五輪、2021年の関西ワールドマスターズゲームズ、と国際イベントが目白押しです。選手育成や学生寮の設置、海外大学との連携拡大とあわせて英語教育などを進めます。

2017年度は「展望レストラン」等を備えた中央棟(仮称)も完成します。食育などの生活条件整備により、学生満足度の高いキャンパスづくりも進めていきます。

本年も皆様方のご多幸をお祈り申し上げますとともに、本学への益々のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



大阪成蹊短期大学 学長
南 徹弘

卒業後の活躍を見据えた
成長をサポート

- 本年積極的に取り組む項目
- 1 学園の教育目的を短大教育にどのように具体化するか
- 2 短大2年間の学修を卒業後どのように活かしていくか

新しい年を迎えるにあたり、新年を寿ぎ申し上げます。

本学の教育目標をさらに短期大学の教育課程に深化させるために、本学は、現在、教育改革を精力的に進めております。昨年は、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、および入学受け入れの方針などをまとめ、続いて教育課程の見直し、アクティブ・ラーニングの推進、成績評価・授業評価の実施、初年次教育・キャリア教育の充実などについて検討し実施しました。とりわけ英語力の向上を重視して新しい英語学習システムの導入、英語を母国語とするネイティブとの自由な会話を行うための課外に開講されるイングリッシュ・セル、オーストラリアやアメリカ合衆国などへの短期語学研修を実施しています。

また、7学科14コースの専門領域における学修を資格取得に結びつけるとともに、自分の考えを言葉と文章で表現することができ、さらに本学で学んだ知識・技能・技術を卒業後も活かすことのできる人材を社会に送り出すことを目指しています。

本年が、優れた知識と実績に加え自らも成長する強い意欲をもち、さらに忠恕を兼ね備えた教員と職員が協力して、ひとりひとりの学生の成長をサポートする教育改革元年でありたいと願っています。



大阪成蹊女子高等学校長
紺野 昇

時代の要請に応える
女子教育

- 本年積極的に取り組む項目
- 1 グローバルなキャリア教育へ進化
- 2 ICTのさらなる活用

新年、明けましておめでとうございます。今年、本校は創立84年目を迎えます。進取の気風に満ちたわが校は、伝統ある女子教育を継承しつつ、ジェンダーな時代の要請に応える新たな教育活動を展開しています。中でも本年本校が注力してまいりますのは上記の2点です。

まず1点目はグローバルなキャリア教育への進化です。現代において、グローバル化社会を見据えた学びは必要不可欠です。本校ではALTを活用した少人数制授業、放課後のベルリッツの英会話とTOEIC講習など「使える英語」の充実を図ります。また、海外修学旅行の他、奨学金を付したアメリカ海外キャリア研修、オーストラリア語学研修、台湾姉妹校との国際交流を更に充実させます。

そして2点目のICT活用については、情報端末機器を積極的に導入し、全教室にスクリーンと大型液晶モニターを設置します。また自主学習の支援として、特進コースでのタブレットを使用した英語学習、新入生を対象とした入学前教育プログラムなどをICTで実施します。

今後も一人ひとりの生徒の学びを大切に、教育力の向上に努めてまいりたいと存じます。本年も、皆様方のご多幸をお祈り申し上げますとともに、本校への益々のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



- 2面 ●クローズアップ!教育改革—学生の皆さんに大きく関わる7つの取り組み
- 新学科・コース、大学院新設構想
- 本学園出身の教育・保育関係者同士をむすぶ「大阪成蹊学園 蹊友会」教育・保育交流会」
- 教育施設・設備—びわこ成蹊スポーツ大学 中央棟(仮)、多目的グラウンド、相川キャンパス外壁改修

- 3面 ●特集「大阪成蹊から世界へ!」—グローバル研修参加者インタビュー
- 4面 ●第6回アート&デザインコンペティション審査結果
- スポーツ—クラブ活動報告
- 学園コーラス部が中之島イベントで歌唱
- 第4回大阪成蹊学園コンサートを開催

クローズアップ Close Up! 教育改革

一人ひとりの「なりたい」のために

——大阪成蹊学園は、変わり続けます——

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学・びわこ成蹊スポーツ大学では、教育の質をさらに高めることができるように、全学的な教育改革に取り組んでいます。今回のWAVEでは、特に学生の皆さんの学びや学生生活に大きな変化をもたらす7つの取り組みについてご説明します。

1

大阪成蹊大学の 初年次教育

大学に入って、最初に履修することになる科目での学修は、その後の学びを左右する大切な経験になります。それらの科目を「初年次教育科目」と位置づけて、「学びへの動機づけ」「大学での学び方」「アカデミックスキル」「スチューデントスキル」「専門導入」等の学びの目標を各学部で設定し、いずれの学部においても4年間の学びの基礎をよりしっかりと固められるようにしました。また、新たにスチューデントリーダー制度を導入することとなり、新入生への入学前教育を中心に在学生在が先輩として活躍する場面もこれから増えていきます。

2

大阪成蹊大学の キャリア教育

卒業後は、現在学んでいる専門性を活かした職業に就き、「なりたい自分」になって社会で活躍したいと考えている人がほとんどだと思います。しかし、専門的な知識と技術を持っているだけでは、社会で活躍していくには不十分です。そのため、社会で活躍していく

上で不可欠な能力を身につけられるように、1年生の後期から4年生の前期にかけて、新たに5つの「キャリア科目」を開講します。企業や自治体と連携し、チームで課題を解決するプロジェクト型の授業を中心に、「社会人としての姿勢・マインド」「社会人として必要な能力・スキル」「キャリアプランニング」などの能力を段階的に身につけることができる授業に変わります。

3

大阪成蹊短期大学の 初年次・キャリア教育

短期大学では、2年間という期間で必要な資格や免許を取得し、卒業後、専門的な職業で活躍することをめざしている人が多いと思います。まず入学後の「成蹊基礎セミナー」で、「学びの姿勢」「学びの基盤となる能力・スキル」「社会人の基盤となる協働力」の修得に焦点を当てて学修していきます。そしてキャリア科目である「キャリアプランニング」では、「キャリアに関わる社会的知識を得る」「キャリア意識を醸成する」「キャリアに関する意志を固める」の3点を軸に、社会人として活躍する上での基礎を固めます。いずれの科目も、学科の違いに関係なく、全員がそれぞれの力を身につけられるように

るとともに、各学科の学びの専門性とも密接に関連したテーマで学修できるようにしています。

4

分かりやすいシラバス

履修登録の際には、まずシラバスを見て、どのような授業があるのかをよく確認していると思います。各回の授業のテーマや課題、成績評価の方法など、従来より項目を大幅に充実して、学生の皆さんがより授業をイメージしやすく、分かりやすいシラバスへと変わります。

5

様々なイベントの開催

今年度は、第2回留学生スピーチコンテスト、ピブリオバトル(知的書評合戦)、短期大学英語スピーチコンテストを開催していますが、次年度は、各イベントの規模をより大きくしていくとともに、卒業論文の発表大会など新たなイベントを企画して、大阪成蹊4大会を開催します。多くの方が参加できる工夫を考えていますので、ぜひ日頃の学修の成果を発揮してください。

6

ラーニング commons の 充実

図書館棟の3階にラーニング commons が開設されて、半年が経ちました。1年生向けの早期SPI対策講座に加え、新たに就職活動を控えた学生向けの直前対策講座などの講座を開講しています。また、都合に合わせて参加しやすい開講方法や、学びの内容やレベルに応じたクラス編成などを新たに導入していますので、ぜひ参加してください。また、宿題カフェでは、利用回数に応じた特典もありますので、自習や友達との学習などで積極的に活用してください。

7

パーソナルブランド マネジメント運動

これまで「学園ブランド力向上運動」として、挨拶、身だしなみ、禁煙、キャンパス美化、授業内マナーの5つを重点的に取り組み、社会人となる上でのマナー意識を高めてきました。これからは「パーソナルブランドマネジメント」をキーワードに、一人ひとりが自分のブランドを作り上げていく取り組みに変わります。

新学科・コース、大学院新設構想

(設置構想は2016年12月時点での計画であり、変更することがあります。)

大阪成蹊大学 大学院 教育学研究科(修士課程)(仮称)

2018年4月開設予定

大阪成蹊学園の長年に亘る教員養成の実績を踏まえ、教育学部の第1期生の卒業と同時に、大学院教育学研究科(修士課程)を開設します。高度化する学校教育を中心に、理論と実践の往還から、常に自己の教育活動に対する振り返りを行うことができる教育の専門職業人をめざします。

大阪成蹊大学 教育学部 教育学科 英語教育専攻(仮称) / 保健体育教育専攻(仮称)

2018年4月開設予定

小学校教諭、幼稚園教諭、保育士をめざす従来の学びに加えて、中学校教諭・高等学校教諭をめざす専攻を新たに開設します。経験豊富な教員による丁寧な指導と、実際の学校現場での実践指導を通して、英語、保健体育の教育に関する確かな知識と指導力を備えた教員を育てます。

大阪成蹊大学 マネジメント学部 国際観光ビジネス学科(仮称)

2018年4月開設予定

グローバル化やIT化が急速に進む社会で、英語を駆使して活躍することのできるグローバル人材をめざす学科が誕生します。英語によるコミュニケーション能力を駆使して、世界の企業での活躍をめざす国際キャリアコース、観光業界での活躍をめざす観光ビジネスコースの2つのコースを用意し、どちらのコースも、海外研修や留学による豊富な国際体験と、効果的な英語学習を可能にしています。

● 本学園出身の教育・保育関係者同士をむすぶ

「大阪成蹊学園 蹊友会『教育・保育交流会』」を創立

本学園では60年以上に及ぶ教員養成校としての実績を礎に、2014年には大阪成蹊大学に教育学部を開設し、さらなる教職教育力の向上に努めています。現在多くの市町村の教育・保育現場では本学出身の幼稚園・小学校・中学校教員や保育士の方々が活躍され、「教育の大阪成蹊」として関係者の方々から高い信頼を頂いています。

今回、学園同窓会「蹊友会」では、現在教育・保育関係に従事されている卒業生の皆様と、学園ならびに蹊友会との連携強化を目的に、「蹊友会」内の組織として「教育・保育交流会」を創設しました。保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学等の教員・保育士として従事される卒業生の皆様の連帯感を強め、学園への誇りと職務に対する士気を一層高めて頂くことがねらいです。

活動としては、同窓生の情報交換会の開催、本学教員や学生との協同作業による研究会やフォーラムといった学びの場の提供など、教員・保育士の方にとって

有意義な取り組みを積極的に行っていきます。

◇

昨年12月には相川キャンパスで創立会が行われ、卒業生、学園関係者ら約160名が参加しました。当日は蹊友会数田会長の挨拶、石井理事長・総長による講演「進化する大阪成蹊～教学改革の報告～」に続いて、規約の提案、役員を選出等が行われました。その後の懇親会では、本学教職員も交えながら、参加された皆様が情報交換を行うなど、同窓としての旧交を温めることができた有意義な会となりました。

今後は、教育職・保育職としての更なる資質向上をめざした研修会の開催や、教職を志す学生が先輩方から指導を受けられるような研修会の開催なども計画してまいります。現在教育機関に従事されている卒業生の方におかれましては、よりいっそうのご協力をお願い申し上げます。

(お問い合わせ：大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 総務部 06・6829・2600)

教育施設・設備

思う存分学びに専念できる環境を整えています



中央棟(仮称)



多目的グラウンド

びわこ成蹊スポーツ大学では学修環境の充実を図るため、2017年7月、キャンパスの中心に「中央棟(仮称)」が誕生する予定です。あらゆる授業形態を

可能にする講義室のほか、最上階には雄大な琵琶湖と山々を一望する展望レストランがオープンします。

学修環境整備に先駆けて、間もなく、フットサルコート2面分・全面人工芝の多目的グラウンドが完成します。多目的グラウンドの横には既に130台分の学生駐車場を配置し、滋賀県湖東地域や京都府北部、福井県などから通学する学生にとってもアクセスが良くなりました。また、今春には更なる学生生活のサポートを目的として、男子ス



相川キャンパス外壁イメージ

スポーツ寮と女子専用アパートの運営を開始します。

大阪成蹊大学・短期大学(相川キャンパス)では、現在外壁の改修工事が進められています。今年3月末には工事終了予定で、4月からの新入生を新しい姿で迎えます。

BOARDING PASS INTERNATIONAL AIRPORT

大阪成蹊から世界へ!

海外研修にチャレンジしよう



AIRLINE TICKET

大阪成蹊学園では、国際社会で活躍する人材の育成を目的とし、平成28年度より「グローバル教育推進プロジェクト」を開始しました。学部・学科の区別なく参加できる語学研修のほか、各学部・学科・コースの学びの内容に沿った実地研修など、様々なプログラムを正課内外で実施しています。今号では、実際に海外研修に参加した学生の皆さんの声をご紹介します。参加を検討している方は是非参考にしてみてください。



スペイン 授業名：海外スポーツビジネス調査 バルセロナ 研修



最先端のサッカービジネスに触れる めざすは地域密着型チームの運営

大阪成蹊大学マネジメント学部スポーツビジネスコース3年
平野 竜也 さん
時期：平成28年9月(約10日間)

『サッカー』リーグクラブチームの運営に携わる、それが私の目標です。Jリーグ3チームのインターンシップに参加したことがきっかけでそう思うようになりました。この研修に参加したのは、世界最高峰のクラブチーム・FCバルセロナの運営の実情や、日本に普及していないソシオ制度^(※)について現地学ぶことが将来の役に立つと思ったからです。

研修ではバルセロナの施設見学やFCバルセロナ運営陣による講義を通し、最先端と言われるスペインのスポーツビジネスとその歴史に触れることができました。また私は滞在中、関連施設やサポーターの振る舞い・文化などあらゆる面で「スペインと日本との違い」に注目しました。例えばスペインでは、スタジアムだけでなく街の中心部や空港など至る所にFCバルセロナの公式ショップがありますが、これは日本ではあまり見かけない光景です。スタジアムでも入口・出口両方にショップが配置されるなど随所に観客の購買意欲を促す売場の工夫があり、日本でも応用できる点は多いです。

卒業後は、街全体に愛される地域密着型のチームを運営したいと考えています。選手とサポーターのために提案力でチームを活性化させる人間になりたいです。

今後、海外研修への参加を考えている方は、研修には自分なりの目的を持って参加してください。ただなんとなく海外に行きたいという理由であれば参加する意味はありません。現地で何を学ぶかを意識して過ごせば、そこでの経験は必ず自分の糧となります。

※ソシオ制度…会員の会費により運営を支えている組織のこと。サッカークラブのファンクラブなどの事を指す。



韓国(済州島) 韓国 語学研修



大好きな韓国で 学んだ語学を 就職後にも生かしたい

大阪成蹊短期大学観光学科2年
武中ひとみ さん
時期：平成28年8月(約3週間)

もともと韓国が好きで韓国語を勉強していましたが、より本格的な発音や表現を学びたいと思い参加を決めました。出発前には研修先で役立つ韓国語を学ぶ授業があり、安心して参加することができました。

授業は全て韓国語で行われるので、大変なこともありましたが、積極的に質問をするようにしていました。現地の日本語学科の授業にも参加し、日本人の私にとっても勉強になったと同時に、韓国の学生が真剣に日本語の勉強に取り組む姿に刺激を受けました。

授業以外の時間は現地の学生に観光地を案内してもらって過ごし、済州の雰囲気や文化も楽しめました。現地の方と話す中で会話の練習もでき、韓国人の友人から「発音がよくなった」と言ってもらえて嬉しかったです。

私は以前から観光業界を志望していて、大阪成蹊女子高等学校に通っていた頃は観光国際レーンで学んでいました。大阪成蹊短期大学観光学科に進学してからはより専門的に学び、卒業後はホテルへの就職が決まっています。今後も語学のスキルを磨いて、外国人観光客の方への対応などに活かしたいと思っています。



アメリカ合衆国 ハワイ 語学研修

大阪成蹊短期大学観光学科1年
水谷愛里 さん
時期：平成28年9月(約1週間)

英会話能力を鍛えたいと思い参加しました。滞在中は一般家庭にホームステイをし、語学学校では英語だけで会話をするルールのため、自然と「英語を話さなければならぬ」環境で過ごす形になりましたが、ホストマザーも先生もわかるまで丁寧に話してくださるので安心して学ぶ事ができました。研修後半には聞き取れる内容がかなり増えました。

授業以外では、ハワイ州観光局の方によるレクチャーや旅行会社・ホテルの見学を通じてハワイ

自分の将来の夢を 見つめ直す機会に



の観光振興の工夫などを学びました。日本人にも人気の旅行先であるハワイですが、より多くの観光客に訪れてもらうために日々様々な取り組みを行っているのを知り、勉強になりました。学科で学んだ観光業の知識があったため話が理解しやすく、実地研修がより有意義なものになりました。数々の観光地にも足を運び、ハワイの文化や景観をじっくりと体感できた

とも良かったです。

『空港や飛行機に関わる場で英語を使って働きたい』というのが私の夢ですが、研修で観光を支えるあらゆる仕事を目にし、さらに視野を広げてみようという思いも生まれました。今後は英語にもさらに力を入れ、自分の可能性を広げたいです。



アメリカ合衆国 ニューヨーク ビジネスツアー

本場アメリカの 大規模な アリーナに感動

びわこ成蹊スポーツ大学
競技スポーツ学科3年
スポーツビジネスコース
脇 夢斗 さん
時期：平成28年3月(7日間)



サッカーなどのゲームを観戦することが好きで、パークレイズ・センター、マディソン・スクエアガーデン、プルデンシャル・センターなどを視察した時は胸が高鳴りました。NBAやNFLのゲームはプロジェクトンマッピングによる演出やハーフタイムショーなどが素晴らしく、大型ビジョンには観客の様子が映るなど、観客も一体となってゲームを楽しめます。見学したアリーナはあえて座席数を減らしプレミアムシートを増設するなど収益性も重視して造られており、「スポーツをビジネスする」先進的な仕組みを感じました。

視察の他に、スポーツビジネスの第一線で活躍する方やニューヨーク大学の教授、映像クリエイターの方からの講義を受け、「常にポジティブにチャレンジし続けなければ成功はないこと」を学びました。

帰国後、早速ツアーでの学びが役に立ちました。大学での授業・活動はもちろんですが、中でも、新県立体育館施設整備検討懇話会(滋賀県)の学生委員となりアリーナ新設について意見を述べる時には、現地で学んだ内容を活かすことができました。

スポーツビジネスの世界は幅広く、スポーツ系企業やクラブチームへの就職だけでなく、地方公務員となって国体を支えるなど様々です。今後は自分なりのスポーツへの関わり方を見つけていきたいと思っています。

今回掲載したものの他にも様々なプログラムを実施しています。興味のある方はお気軽に授業担当教員、および教育研究支援センターまでお問い合わせください。

オーストラリア オーストラリア 語学研修

大阪成蹊女子高等学校
幼児教育コース3年
井上 恵 さん
時期：平成28年3月(約2週間)

「海外研修に行けるのも、ホームステイができるのも今のうち。せっかくだから行っておいで」と母が背中を押してくれ、この研修には2度参加しました。

フランクストン高校の授業はすべて英語で、ゲームなどを通じて英語で会話しながら課題に取り組みました。高校では一人ひとりに現地の高校生が「パディ」として付き、学内を案内したり友達に紹介してくれたりしたので、安心して楽しく過ごすことができました。

現地の幼稚園を訪問するプログラムでは、手作りのおもちゃを使って日本の遊びについてレクチャーする機

2度の参加を通じて生まれたファミリーとの絆 一歩踏み出せば世界が変わる

会があり、子どもたちと英語で話せたことが嬉しかったです。

研修では2度とも同じ家庭にホームステイをさせていただきました。ファミリーは終始本当の家族のように接してくれ、とても仲良くなりました。帰国後もメールで連絡を取り合っています。

私は保育の道を志していますが、最近は幼稚園でも簡単な英語表現を教える所が増えていきます。大学進学後は保育の勉強を続けながら、英語力をもっとつけていきたいと思っています。

異国の文化や言語に触れることは、英語力だけでなく自分の考え方や性格も変わってくれます。思い切って参加してみることをおすすめします。





アート&デザインコンペティション 未来への発信 審査結果

●総評 ~作品審査を終えて~ 芸術学部長 澤田克之

第6回大阪成蹊全国アート&デザインコンペティションの審査結果が決定いたしました。「未来への発信」というテーマのもと、全体として1900点近くの作品の応募があり、中学生作品761点(応募校数102校)、高校生作品1118点(応募校数97校)に上り、特に今回は「全国版」へ拡大しましたので、近畿地区を越えて東北から九州までという広い地域からの応募がありました。作品は大幅にレベルアップしており、白熱の審査となりましたが、制作された生徒さんはもとより指導にあられた先生方の熱心なご指導が目につかふようで、審査員一同頭の下がる思いです。ありがとうございました。

中学生の部

大阪成蹊芸術大賞

準大賞

A部門 金賞

C部門 金賞

B部門 金賞

毎日新聞社賞

●大阪成蹊芸術大賞	大阪市立新東淀中学校	堀真愛佳さん『わが名はぶるるん』
●準大賞	高槻市立第三中学校	木原采美さん『私の頭の中』
●毎日新聞社賞	西宮市立学文中学校	高尾颯人さん『知らない世界へ』
●中学生の部 金賞		
●A部門(グラフィックデザイン・イラストレーション)		
●B部門(マンガ・キャラクター)	高槻市立阿武山中学校	浅岡佑音さん『ヒカリ』
●C部門(美術)	帝塚山学院中学校	香川美琴さん『machine doll』
●銀賞15点、銅賞15点、入賞25点	高槻市立第三中学校	山崎涼華さん『チェスの部屋』

高校生の部

大阪成蹊芸術大賞

準大賞

毎日新聞社賞

A部門 金賞

B部門 金賞

C部門 金賞

E部門 金賞

●大阪成蹊芸術大賞	和歌山県立紀史館高等学校	山口菜奈さん『鴉鳥絵(あとりえ)』
●準大賞	京都府立宮津高等学校	黒田奈々子さん『stare』
●毎日新聞社賞	宣真高等学校	大谷紅寧さん『さあ…はじまるよ!』
●高校生の部 金賞		
●A部門(グラフィックデザイン・イラストレーション)		
	兵庫県立北須磨高等学校	山崎あみるさん『下弦の下(もと)より』
●B部門(マンガ・アニメーション)	三重県立名張桔梗丘高等学校	石川奈々さん『こーいち野に立つ』
●C部門(写真)	大阪府立成城高等学校	西脇亜美さん『うらら』
●D部門(ファッション・インテリア・プロダクトデザイン)該当者なし		
●E部門(美術・工芸)	和歌山県立紀史館高等学校	岡田奈津美さん『リサイクル』
●銀賞20点、銅賞20点、入賞30点		

スポーツ結果報告 ~各クラブが大躍進!~

大阪成蹊大学・短期大学

日本インカレ総合優勝 陸上競技部

2016年9月2日(金)~9月4日(日)に開催された天皇賜盃第85回日本学生陸上競技対校選手権大会で、本学女子陸上競技部が初の総合優勝を成し遂げました。



11月には選手達が大阪府庁を表敬訪問し大阪府教育長に優勝報告を行いました。

10月21日(金)~10月23日(日)の第32回日本ジュニア陸上競技選手権大会では、三段跳で河合菜奈さん(1年)が12m76の大会タイ記録で優勝するなど好成績を残しました。

10月28日(金)~10月30日(日)の第100回日本陸上競技選手権リレー競技大



提供:月刊陸上競技

会「女子4×100mリレー」でも関西学生新記録を達成し優勝するなど、陸上競技部のめざましい活躍が続いています。

全国大会準優勝 フットサル部

8月26日(金)~28日(日)に開催された第12回全日本大学フットサル大会で本学フットサル部が準優勝しました。

全国大会出場は6度目で、今回は準優勝に加え大会中の累積ファール数が最も少なかったチームに贈られるフェアプレイ賞も受賞しました。



新人大会準優勝 ヲトテニス部

全国大会金賞・ノードロップ賞受賞 バトントワリング部

10月30日(日)関西学生ソフトテニス新人大会において、芝井幸太朗さん(2年)、玉置弦也さん(2年)のペアが優勝、白井文二さん(2年)、濱崎和哉さん(1年)のペアが準優勝に輝きました。

全国大会金賞・ノードロップ賞受賞 バトントワリング部

11月3日(木)『第38回バトントワリング関西大会全国』において関西支部代表として選考され、12月10日(土)・11日(日)『第44回バトントワリング全国大会』に出場しました。



びわこ成蹊スポーツ大学

全国大会優勝 アルティメット部

10月1日(土)第27回全日本大学アルティメット選手権大会(メン部門)で、本学アルティメット部が初の大学日本一に輝きました。後日、選手らが滋賀県知事及び大津市長を表敬訪問し、優勝の喜びを報告。大津市からは「スポーツ賞(団体)」が贈られました。

J1ヴァンフォーレ甲府 加入内定 サッカー部

10月1日(土)第27回全日本大学アルティメット選手権大会(メン部門)で、本学アルティメット部が初の大学日本一に輝きました。後日、選手らが滋賀県知事及び大津市長を表敬訪問し、優勝の喜びを報告。大津市からは「スポーツ賞(団体)」が贈られました。

学園コーラス部

中之島を包む あたたかい歌声

学園コーラス部が2016年11月5日(土)に「2016中之島まるごとフェスティバル」に出演しま

した。昨年度に続き2度目の出演、合唱では大阪府内の高校で唯一の出演校でした。このイベントは、中高生によるまっすぐで若さ溢れる合唱や吹奏楽など、様々なジャンルの音楽を楽しめる場として毎年開催されています。イベントの一番の目的

は、「東日本大震災で被災した方々に、ピアノの音色が日常に聞こえるような文化的な毎日を過ごして欲しい」という想いから、イベント内で募金活動を行い、宮城県南三陸町の公民館にアップライトピアノを寄贈する事です。コーラス部は「メリーポピンズ」を中心に4曲、心を込めて楽しく演奏させて頂きました。観客の方々からは沢山のご声援と拍手を頂き、部員一同大きな達成感を感じていました。今後も積極的に活動していきますので、ご支援の程よろしくお願致します。



学園コンサートを開催 ~音楽で世界一周~



2016年12月2日(金)、相川キャンパス図書館7階ホールにて大阪成蹊学園コンサートを開催しました。今年は「音楽の贈り物~世界一周音楽の旅~」と題して世界の名曲、名歌を集めてコンサートが行われました。第1部は弦楽器で12月をイメージさせる冬の曲を演奏し、第2部はオペラや童謡、カンツォーネなどバラエティ豊かな歌が披露され、時には出演者が客席の笑いを誘うシーンもありました。来場された皆さんはコンサート会場から流れる美しい音色に魅了され、楽しいひとときを過ごしました。